

ルースレイタイルシリーズ標準機能①

※データは特記のない場合は全て社内データです。数値は試験値であり、保証値ではありません。

防汚性

光沢感を抑えたマットな質感※でありながら高い防汚性能を実現。

床材	汚れ付着前	汚れ付着直後	水拭き後
 NO WAX NW-EXシリーズ			
ワックスメンテナンス製品(ワックス塗布品)			

※ルースレイ50NW-EX(高耐久仕様)、ルースレイマスターNW-EXは低光沢ではありません。

■耐ヒールマーク試験(東リ独自試験)

六立方体の回転試験機(図1)の内部6面に22cm×22cmの試験片を貼り付け、5cm立方体のゴム塊6個(写真1)を入れ、フタをします。減速モーターを63回転/分で、正転15分、逆転15分回転させます。その後、試験片を取り出し、汚れの状況を自視観察。次いで試験片を紙拭き及び水拭きした後の汚れ状況も自視観察し、評価します。

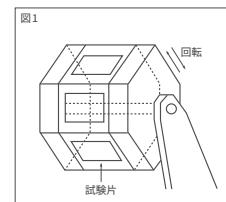


写真1 回転試験機内に入れる5cm立方体のゴム塊

帯電防止

人体に帯電する静電気量を少なくし、快適な空間にします。

	評価	表面電気抵抗値(Ω)	体積電気抵抗値(Ω)	条件:人体帯電圧(kV) JIS L 1021-16 準拠 合成ゴム底 並足
ルースレイ40NW-EX	B	5.6×10^9	2.3×10^9	0.2
ルースレイ50NW-EX	B	1.2×10^{10}	3.8×10^9	0.3
ルースレイ50NW-EX (高耐久仕様)	C	1.8×10^{10}	1.0×10^{10} 以上	0.6
ルースレイマスターNW-EX	B	4.9×10^9	3.8×10^9	0.6

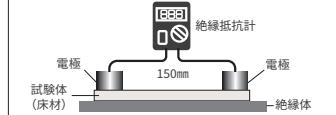
東リでは、体積電気抵抗値 1×10^{10} 未満のものを帯電防止製品としています。

※体積電気抵抗値、並びに人体帯電圧は、下地の材質によって異なりますのでご注意ください。

【試験方法】 温度:23°C 湿度:25%

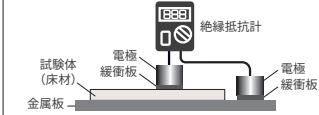
① 表面電気抵抗試験(東リ独自試験)

2つの電極間を直流電圧を通してどれだけ流れれるかを試験。
数値が小さいほど、静電気が発生しにくいことを示します。



② 体積電気抵抗試験(JIS A 1454準拠)

電極の一方を金属板に設置して電極間の電気抵抗値を測定。
数値が小さいほど静電気が発生しにくいことを示します。



【評価基準】

ランク	結果(体積電気抵抗値)	用途の目安
A	$1 \times 10^4 \sim 1 \times 10^7 \Omega$	導電グレード。コンピュータ制御室等
B	$1 \times 10^7 \sim 1 \times 10^{10} \Omega$	帯電防止グレード。機器の組み立てライン・OAオフィス、手術室、検査室、薬剤室
C	$1 \times 10^{10} \Omega$ 以上	一般グレード。静電気の発生の憂慮されない場所

【データの判定目安】

床材の帯電防止性は、体積電気抵抗値で判定します。電気抵抗値が低いほど、静電気を逃がしやすくなります。また、一般に床材の電気抵抗値は湿度の影響を受け、湿度が高いほど、電気抵抗値は低くなります。

抗菌

菌の増殖を抑制し、安心な環境づくりに役立ちます。

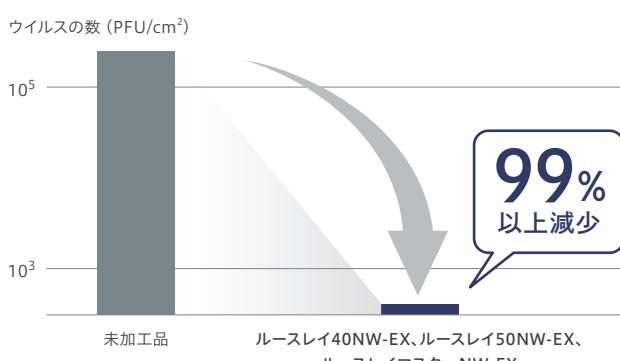
	抗菌活性値		
	大腸菌	黄色ブドウ球菌	MRSA
ルースレイ40NW-EX	2.0以上	2.0以上	2.0以上
ルースレイ50NW-EX			
ルースレイマスターNW-EX			

【抗菌性判定の目安】

床材は、大腸菌、黄色ブドウ球菌、MRSAのそれぞれの抗菌活性値が2.0以上であれば、抗菌性能があることを示します。

抗ウイルス

ウイルスの増殖を抑制し、安心な環境づくりに役立ちます。



製品上の特定のウイルスの数を99%以上減少!



SIAAの安全性基準に適合しています。

- 抗ウイルス加工は、病気の治療や予防を目的とするものではありません。
- SIAAマークは、ISO21702法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

抗ウイルス性試験の詳細

試験機関:一般財団法人日本繊維製品品質技術センター 試験方法:ISO21702法

※数値は試験値であり、保証値ではありません。

ルースレイタイルシリーズ標準機能②

※データは特記のない場合は全て社内データです。数値は試験値であり、保証値ではありません。

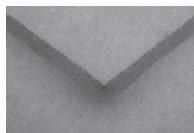
不陸隠蔽

タイルの厚みでパネル間の段差や目地スキをカバーします。また寸法安定性や柔軟性にも卓越しているので割れる心配もありません。

◎:発現しない

○:少しあるが目立たない

×:はっきり分かる



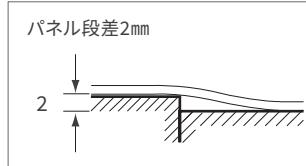
キャスターの往復回数	50	100	150	200
ルースレイ40NW-EX	◎	○	○	○
ルースレイ50NW-EX	◎	○	○	○
ルースレイマスターNW-EX	◎	○	○	○
一般複層ビニル床タイル(2mm)	×	×	×	×

【試験方法】

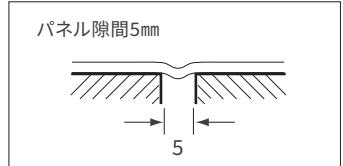
段差と隙間を作り、キャスターを往復させ、表面への不陸の発現を評価する。

温度:20°C 荷重:30kg/一輪 キャスター:50φ×20mm ゴム輪

■ 不陸発現性テスト(段差2mm)



■ 不陸発現性テスト(パネル隙間5mm)



※施工の際はパネル段差1mm以下、隙間は2mm以内に抑えてください。

突上げのおこりにくさ

優れた寸法安定性とタイルの厚みによる自重の働きにより、温度変化などによる突上げが非常に起こりにくくなっています。

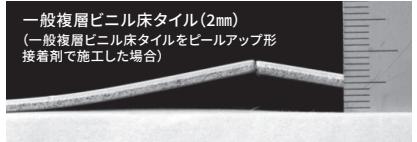
変化なし



変化なし



突上げ



※一般複層ビニル床タイルはピールアップ形接着剤での施工はできません。

	15°C	25°C	35°C
ルースレイ40NW-EX	○	○	○
ルースレイ50NW-EX	○	○	○
ルースレイマスターNW-EX	○	○	○
一般複層ビニル床タイル(2mm)	○	約3mm突上げ	約5mm突上げ

【試験方法】

5°Cにおいて2枚のタイルを突き合わせ、ピールアップ形接着剤を用いて施工後、昇温させタイルの状態を観察する。

寸法安定性

ルースレイ40NW-EX・ルースレイ50NW-EX・ルースレイマスターNW-EXは、ガラス繊維層を採用することにより、優れた寸法安定性を維持。

■ 加熱による長さの変化率

	加熱による変化率(%)	
	長さ	幅
ルースレイ40NW-EX	-0.01	-0.02
ルースレイ50NW-EX	-0.01	-0.03
ルースレイマスターNW-EX	-0.01	-0.03

■ 熱膨張率

	熱膨張率($^{\circ}\text{C}^{-1}$)	
	長さ	幅
ルースレイ40NW-EX	1.7×10^{-5}	3.4×10^{-5}
ルースレイ50NW-EX	1.7×10^{-5}	4.7×10^{-5}
ルースレイマスターNW-EX	2.3×10^{-5}	4.6×10^{-5}

【試験方法】 JIS A 1454準拠

23°Cから80°Cに加熱し6時間保温後、どれだけ寸法が変化したかを測定。数字が小さいほど、寸法安定性に優れていることを示す。

【試験方法】 JIS A 1454準拠

80°Cで6時間静置後、5°Cで24時間後静置後のサイズと、さらに35°Cで24時間静置後のサイズを測り、その差を見る。数字が小さいほど温度による変化を受けにくく、寸法安定性に優れていることを示す。